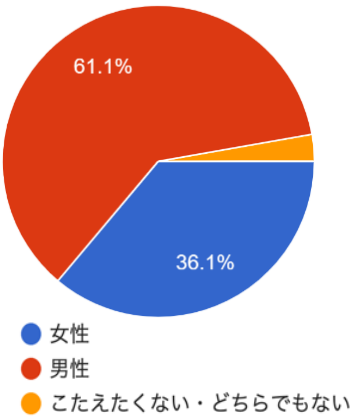
2020 年度後期遠隔・公開授業受講生アンケート結果

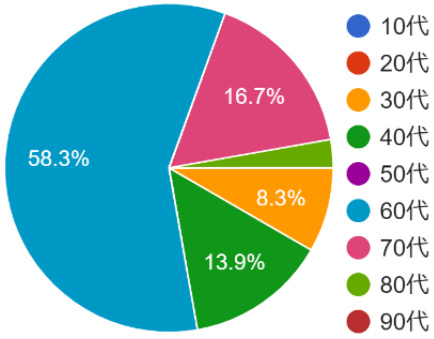
【1】アンケート回答者数（全受講者数）：　34 名（42 名）　（回答率：81%）

【2】回答者の属性（性別、年齢、最終学歴）

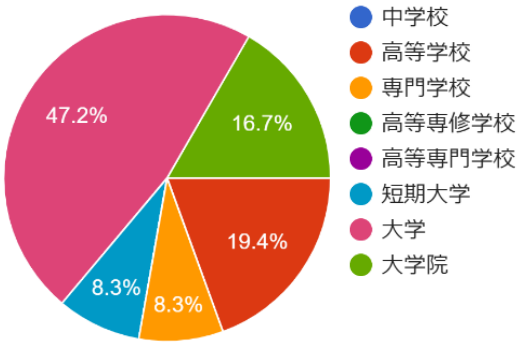
① 性別



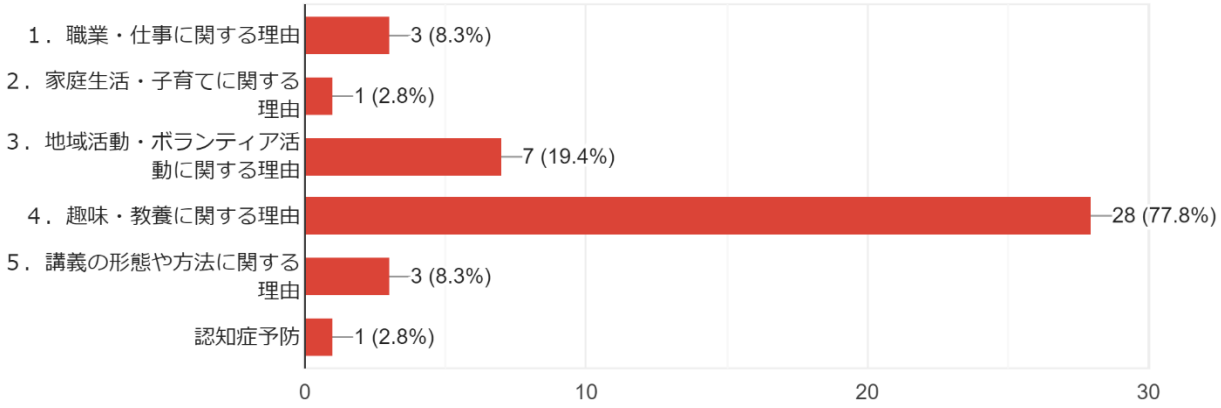
② 年齢



③ 最終学歴



【3】受講理由（複数選択可）



【4】遠隔・公開授業を受けて良かったことや実生活で役立っていること（一部抜粋）

・高い知識を有する教授から直々に授業を安価に受けることができ，しかも遠隔授業(zoom)という魅力的なツールを使えるようになること。

・移動時間がゼロ。これが一番のメリットです。昨年から公開授業に参加するようになりましたが、業務中に外出して大学で講義を受けるため、移動時間もふくめると２時間以上の外出になります。そのため、本当は２科目受講したかったのですが、１科目だけ

にしました。今回はオンラインということや、コロナ禍により自身の会社も在宅勤務となったことから、公開講座への参加がし易くなり今回は２科目受講しています。

・最近聴き慣れないカタカナ語の意味がわかったり、映画やドラマの中の台詞が僅かでも理解できた時は、嬉しくなります。大袈裟ですが、人生が豊かになったような。

・直接役立つというわけではありませんが大学で学んだことに自信を持って、周りに伝えられる（話題)。

孫（小中高生）と学問について語れるのも良い。例えば距離とか自然現象とか、話題として伝えられる。

・公開授業は今まで独学で知ったことを検証できるし、また広く深く知識が深まる。

遠隔授業は通学時間がゼロである。１日の時間を有効に使える。案外と授業に集中できます。(教室での学びと比べてですが）パソコンの新しい操作に馴れたことなどは利点です。

・確実に知識と実践力の向上があり，実務能力の up と仕事の質の向上に直結している。

・レポートは今までの授業よりも長時間かかるので大変ですが、やりがいを感じています。

【５】遠隔・公開授業に参加して悪かったことや、困ったこと（一部抜粋）

・オンライン授業なので仕方ないと思いますが、講義が一方通行になり、講師の顔が見えません。受講は楽でした。小テストは講師によってはチャットで回答するものがあったりして、少し戸惑いました。

・やはり実際授業を受けるのとでは何かしら何かが違う。なんだろう？臨場感？内容は同じだけど。

・時間を気にせず学べる反面、気をつけないと課題の提出期限を忘れそうになること。zoom での授業はグループセッションに上手く参加できないこと。

・生活時間のロスが少なくなった分，屋外活動が減った。少し疲れる気がする（モニターのせいかも？）

・*学生の皆さんや、他の公開授業参加者と直接、コミュニケーションがとれないこと。*

・*資料等で、活字の小さいことがあったりしたのが気になりました。*

・*聞き取れなかった部分の質問をしづらいこと。*

・*時々パソコンの使い方がわからなくなること。*

****
初めての試みとして開始しました 2020 年度後期遠隔・公開授業でしたが、皆さまのご理解・ご協力により実施することができました。そして、このようにアンケートにて皆様の声を頂くことができ、感謝申し上げます。ありがとうございました。
頂きました内容は関係各所、担当教員へ周知し、より一層の充実を図れるようにいたします。
****

■鹿児島大学 産学・地域共創センター生涯学習部門■
TEL：099-285-7294　FAX：099-285-7265
E-Mail：contact@life.kagoshima-u.ac.jp